

『交流活動を通して学校や地域においてたくましく生きる児童の育成』

あま市立甚目寺西小学校

1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、様々な人との温かいふれあいを大切にした学習の場を積み重ねていくことにより、互いを思いやることの大切さを学ばせるとともに、規範意識の高揚も図っていききたい。

2 内容

(1) 多様な交流（児童・地域・国際）の場を通して温かい人間関係づくり

ア ペア学年活動（異学年交流活動）

今年度も、昨年から始めたペア学年活動を行いました。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生をペア学年として、清掃活動や遊び、読み聞かせなど中心に、日常生活の様々な場面で関わる中で、人間関係を築いたり、上級生としての自覚を促したりする活動に力を注ぎました。

一学期では、上級生が企画・運営した遊びを数多く実施しました。はじめは教師の指導のもと、遊びを考えて行いました。普段とは違った一面を見ることができました。回を重ねるごとに、教師が介入する場面が減り、楽しみながら遊ぶことができました。遊んだ後は、温かく和やかな雰囲気に満ちあふれていました。

イ にっこクリーンキャンペーン

毎年6月には、地域の方々とともに、学校周辺の道路の清掃に取り組んでいます。保護者の方々に加え、地域の老人会の皆さん、子どもたちが配付した「協力のお願い」を読んだ地域の方も参加してくださり、子どもたちの安全を見守りながら清掃活動を助けていただきました。

ウ スリーハート運動

本校では、毎年、規範意識の高揚と人権モラル向上をめざした「スリーハート運動」に取り組んでいます。児童と保護者、地域の方々が知恵を絞った標語の中から、優秀作品を選び、1枚のポスターにまとめたものを高学年の子どもたちが学区の公共施設や商業施設等へ出向き、掲示してもらいました。

エ マロニー小学校との交流

4年前より、アメリカ・マロニー小学校との交流活動を進めています。今年度は、6月にマロニー小学校の児童とその家族が来日し、西小学校で交流することができました。全校で歓迎会を開き、各学級での交流ももつことができました。秋には、互いの国の文化を紹介し合えるように工夫をした作品を、交換をするとともに、1月にはLineを利用したテレビ電話を使って、交流を深め



—ペア学年にレクリエーション—

ました。

(2) 挑戦する土台づくり

ア 杉浦誠司さんの講話と書の実演

今年度は、文字職人の杉浦誠司さんを講師にお招きし、「人権学習会」を開催しました。

ご本人が学生時代に体験した「いじめ」についてのつらい体験を、子どもたちに語りかけたり問いかけたりしながら話されました。いじめとはどういうものなのか、どんな気持ちになるのかを知ることができました。「いじめは、受ける側は、どうしてよいのかわからずとまどい、次第にとつてもつらく自分を責めるようになる。しかし、いじめている本人も苦しみもがいている」との言葉が印象深く、子どもたちは真剣なまなざしで話を聞き入っていました。



－ 杉浦誠司さんの書の実演 －

イ 外部講師の招聘

外部から講師を招き、温かいふれあいを大切にした学習活動を進めるとともに、私たち教師の力量向上にもつなげています。

- * 地元老人クラブ（伝承遊び：1年） * 佐藤醸造（醤油造り：3年）
- * ドリームマップ普及協会（将来の夢：4年）
- * 中日新聞地元営業所（新聞づくり：5年）
- * ケータイ・スマホ安全教室（防犯教育：5年、6年）
- * 防災教室（防災教育：全学年）

ウ 現職教育の充実

合唱指導や学習発表会での演技指導、Q U検査の分析について、専門講師を招いて研修を深め、教師の力量向上を図りました。

3 評価

出会いとふれあいを大切にした活動を計画的に積み重ねてきた中で、よりよい生き方や温かい人間関係を築こうという気持ちを高めるとともに、自分や他者のよさに気づき、尊重し合う児童が着実に育ってきています。児童全員が、毎日登校できていることから、学校が安心して自分を成長させることができる場ととらえているといえます。

4 課題

数多くの様々な取組を通して、子どもたちは、関わることの楽しさやよさなど多くのことに気づき、学ぶことができました。今後は、学校だけでなく地域でも力が発揮できるように、子どもたちに学ぶ場を継続して設定し、取り組ませていきたいと考えています。